

みんなのひろば

まちの話題を 紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0003へお寄せください。

「南丹市の歴史に触れる見学会」

(3/25・丹波史談会)

丹波地方の郷土史を研究するグループ「丹波史談会」(奥村覚会長)による、日吉町胡麻から京丹波町丹波高原までの歴史を訪ねる「胡麻・丹波高原見学会」が行われました。当日は、奥村会長が地域の地名や地層、生えている植物などから分かる地域の変遷などを説明されました。また、胡麻川の上流にある昔の大堰川を利用した通船の港跡や、旧若狭古道、太古の地殻変動でできた河川流路を今に残す“水分の路”などを見学し、参加者は地域の歴史を感じる1日になりました。



▲日吉町胡麻地域の歴史をたどりました(日吉神社にて)

「人と自然との共存が、未来につながる」

(2/25・いきもの川探訪)

都市近郊に位置しながら多くの自然が残っている南丹地域の身近な水辺の生き物を見つめ直そうと、新しい歴史に向かって走ろう府民運動推進協議会亀岡支部・園部支部が、八木公民館で「いきもの川探訪」と題して講演会や交流会が行われました。

交流会ではまず、京都学園大学バイオ環境学部の大西信弘助教授が基調講演を行われ、人と自然との共存の必要性を強調されました。続いて、岡山淡水魚研究会や岡山市賞田町内会のメンバーが、アユモドキをはじめとする淡水魚保護活動の取り組みの事例発表をされました。また、地元からは八木町西田自治会からの報告があり、平成16年から始めた「魚の観察会」で23種類の淡水魚や10種類の貝類が確認されたものの水質の悪化が懸念されることや「農業を続けていくという希望と結びつけて活動を続けていきたい」と抱負を述べられていました。最後に意見交流会が行われ、一人ひとりが今日の話を背負いながら次の一步を考えていくことを確認し合いました。

「家庭でできる健康法で毎日が元気！」

(3/17・市民公開講座)



▲「肥満を知ること健康な毎日が送れます」

南丹市日吉町にある明治鍼灸大学附属鍼灸センターによる市民公開講座が南丹市国際交流会館で行われ、およそ60人の市民が訪れました。当センターでは地域の健康を守るため、これまで日吉町で講座を開いて、日ごろから健康に気をつけてもらおうと取り組まれており、今回は南丹市となって初めて園部町地域で開催されたものです。

この日は肥満の基礎知識と生活習慣病の予防が紹介されました。また、体調管理に役立つ家庭でできる“ツボ”療法が紹介され、訪れた参加者は早速、実践していました。



▲事例発表に耳を傾ける参加者